

国連ボランティア活動報告会 感想文アンケート

■ほらぶら会員感想文の国連ボランティア活動報告

下記に同意の上ご記入ください。

「本プログラムでの感想文や写真は、ほらぶら関連メディア（WEB サイト・ソーシャルメディアなど）への掲載・UNV への提供をさせて頂き、両団体の広報活動に使用させていただく場合がありますので予めご了承下さい。そのため、感想文中に個人名を記載することはお控え下さい。」

1. 掲載名を選択して記入して下さい。

本名 \_\_\_\_\_ or ニックネーム ( IEE )

2. 感想文タイトル「開発における失敗と連携の価値」 (25 文字以内)

3. 活動報告の感想 (200 文字以上)

以前は IOM がどのような組織なのか知らなかったけれど、UNV の方に説明  
 いたっていて、移民や移住に関する開発やサポートを行うという組織だということもわかった。  
 その方はこの IOM に所属される前に、青年海外協力隊で NGO 活動に参加されていた  
 らしいが、そこでの失敗談も話していた。そして、失敗が次につながるという、彼の  
 考えが、とても印象的で、現在の活動にもその失敗の経験をいかしていることに  
 驚かされた。その活動は移民と開発というプログラムで、ネパールの出稼きをする人が再定  
 住して、出稼きの送金を使って開発をするというものでしたが、出稼きによる送金を貧困削減  
 につなげるというアイデアはとてもおもしろいと思った。一番勉強になったのが、そのプロジェクトを  
 行うにあたって、銀行や農協、保険など、様々な団体が連携する必要があるということ。プロ  
 ジェクトマネジメントの複雑さを知った。普通の NGO だとなかなかそこまで手が回らないと思  
 うけれど、国連や政府とつながるレベルの団体が行う活動は、より地域の状況を改善できる  
 可能性をもっていると感じた。しかし、UNV のお二人の方が口をそろえておっしゃっていたように、  
 開発をしないわけにはいかないというのは事実かもしれないけれど、本当に開発をすることがいいことなのか

4. 印象に残った一言 (100 文字以内)

- ・失敗がより良いプロジェクトにつながる
- ・開発をしないわけにはいかない (開発をすることがいいことなのかわからないけれど)

は、答えは出せないにしても、考える必要があると思ひ、共感した。もっと本  
 がより良い活動  
 につながるのでは  
 ないかと思う。

5. 国連ボランティアから他にどんな話を聞いてみたかったですか? (100 文字以内)

もっと開発に対するお二人の意見について聞けたらより良かったかなと思う。